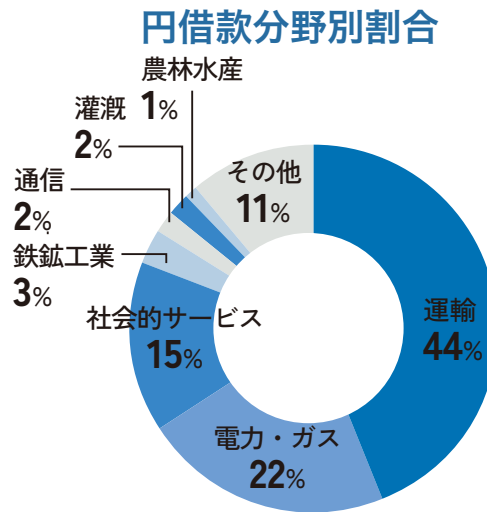


JICAによるODA事業：実績

近年の対ベトナムJICA協力実績（億円）

年度	円借款	無償	技術協力
2017	618	26	67
2018	0	5	64
2019	0	24	50
2020	485	21	43
2021	108	7	49
2022	189	7	47
累計総額 ～2023/3	28,031	965	1,831
2023	1022	11	52

円借款(海外投融資除く)はL/Aベース、無償はG/Aベース、技術協力は実績ベース



円借款の4割以上が運輸インフラ整備関連
(1972～2023年度承諾額累計約2.9兆円)

ハノイ周辺地域に対するJICA事業一覧

有償資金協力事業

案件名	事業期間	供与額(億円)
国道5号線改良事業 (第1-3期)	1994-2002	210
ハイフォン港リハビリ事業 (第1-2期)	1994-2006	173
国道1号線橋梁リハビリ事業 (第1-3期)	1994-2005	155
カイラン港拡張事業	1996-2004	103
ハノイ市インフラ整備事業 (第1期:タンロン北地区公的支援)	2003-2008	144
国道10号線改良事業 (第1-2期)	1999-2004	305
国道18号線改良事業(I)(II)	1998-2008	234
ハノイ市交通網整備事業	2002-2010	125
ビン橋建設事業	2000-2005	80
紅河橋建設事業 (I)(II)(III)(IV)	2000-2018	410
バイチャイ橋建設事業	2001-2008	68
国道3号線道路ネットワーク整備事業(I)(II)	2005-2014	290
ニャットン橋(日越友好橋)建設事業 (I)(II)(III)	2006-2014	542
ベトナム北部国道交通安全強化事業	2009-2014	66
ハノイ市都市鉄道建設事業 (1号線)	2008-	47
ハノイ市環状3号線建設事業	2008-2016	281
ハノイ市都市鉄道建設事業 (ナムタンロン-チャンファンダオ間 (2号線))	2009-	206
ノイバイ国際空港 第二旅客ターミナルビル建設事業 (I)(II)(III)	2010-2016	593
ノイバイ国際空港- ニャットン橋間連絡道路建設事業 (I)(II)	2010-2014	181
ラックフェン事業国際港建設事業 (港湾) (1)(2)(3)	2011-2018	653
ラックフェン国際港建設事業 (道路・橋梁) (1)(2)(3)	2011-2017	489

JICA ベトナム事務所
JICA Vietnam Office
住所：11F, CornerStone Building, 16 Phan Chu Trinh St., Hoan Kiem Dist., Hanoi, Vietnam
電話：+84 (24) - 3831 - 5005～8
<https://www.jica.go.jp/vietnam>

技術協力事業

北部地域交通システム開発調査	1993-1994
ハノイを含めたナムディン省以北のベトナム北部地域で、短・中期に必要な重要な交通インフラ整備計画を提案。	
ハノイ交通安全人材育成プロジェクト	2006-2009
人民警察学院において、交通安全の向上に資する教育内容の向上を図る。	
ハノイノイバイ国際空港運営・維持管理計画策定支援プロジェクト 2013-2014(ターミナル運営)/2014-2015(航空機給油施設運用技術)	
ベトナム航空会社 (ACV) に、健全な空港運営および航空機給油施設の運用技術の技術支援を行う。	
ハノイ市公共交通改善プロジェクト	2011-2014
ハノイ市の公共交通整備にかかる計画策定能力の向上を図る。	
ハノイ市都市鉄道規制機関強化および 運営組織設立支援プロジェクト	2013-2016
ハノイ市の都市鉄道において、規制機関強化及びO&M会社設立の環境整備を行う。	
都市鉄道行政アドバイザー	2016-2018
都市鉄道整備に必要な法制度、技術的なアドバイスを鉄道局に提供する。	
ハノイ市総合都市開発計画調査	2006～2007
ハノイ市の都市計画、交通計画、上下水計画を総合的に策定したマスタープランである。	

無償協力事業

ハノイ首都圏高速道路交通管制システム整備計画 2012-2014	434(百万円)
高度交通管制システム (ITS) (情報版、路側機器 (CCTV等)、中央措置 (提供情報作成システム、CCTVサーバー、交通状況モニター等) の整備。	



ハノイ市
都市交通への
日本の協力

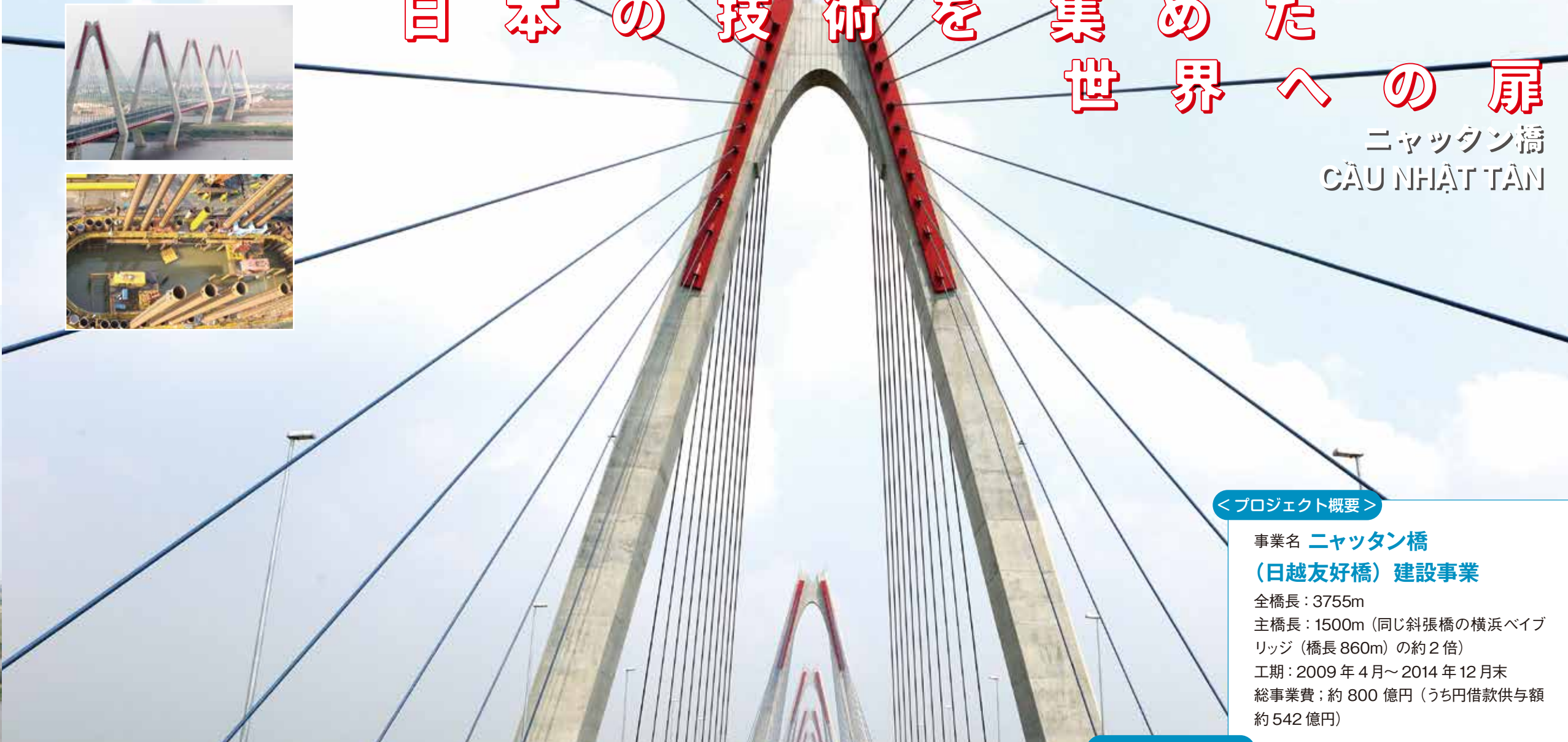


国際協力機構 (JICA) ベトナム事務所

Japan International Cooperation Agency

日本の技術を集めた
世界への扉

ニャットン橋
CẦU NHẬT TÂN



<プロジェクト概要>

事業名 ニャットン橋
(日越友好橋) 建設事業

全橋長：3755m
主橋長：1500m (同じ斜張橋の横浜ベイブリッジ (橋長 860m) の約2倍)
工期：2009年4月～2014年12月末
総事業費：約 800 億円 (うち円借款供与額 約 542 億円)

<プロジェクト概要>

事業名 ノイバイ国際空港
第二旅客ターミナル建設事業

工期：2010年2月～2014年12月
総事業費：約 761 億円 (うち円借款供与額 約 593 億円)
事業名：ノイバイ国際空港運営・維持管理
計画策定支援プロジェクト
期間：2012年5月～2015年6月

日本のホスピタリティを
ベトナムに



ノイバイ国際空港

CẢNG HÀNG KHÔNG QUỐC TẾ NỘI BÀI



ハノイ市は急速な経済発展に伴いオートバイや自動車による交通量が急増。一方、2000年代後半、当時空港から市中心部に向かう主要道路は、中心街を大きく迂回し、渋滞、老朽化が激しいタンロン橋を通過するルートのみで、発展目覚ましいベトナムの首都にふさわしいインターナショナルゲートウェイを提供することが急務とされていました。

ニャットン橋建設事業は、ハノイ市を一周する環状2号線全線完成に向け、市を横断する紅河に架かる橋梁及びアプローチ道路等を建設するもので、同市の南側に位置する既存の中心市街と、北側の空港等を含む新規開発地域を結ぶ新しい主要ルートとして、2015年1月に開通しました。ニャットン橋は現在、ノイバイ国際空港に到着してハノイ市内に向かうベトナム国内外の人々の目にはシンボリックな存在となっています。

ノイバイ国際空港は旅客が急増し、旅客数が2007年以降計画容量 (年間 600 万人) を超過する状況が続いていました。ノイバイ国際空港第二旅客ターミナル建設事業は、ノイバイ国際空港に年間 1000 万人の旅客に対応できる国際線専用旅客ターミナルを新設し、最新の旅客手荷物処理装置や地下埋設管による航空機燃料供給システム等を導入することにより、同空港の旅客取扱容量を拡大し、急増する航空需要に適切に対応するとともに、利便性、安全性を向上させるもので、2014年12月に完成しました。最新の手荷物処理、セキュリティシステムの導入、空港内サービスのなど、ソフト面でも日本が誇る「ホスピタリティ」の技術・アイデアが導入されています。ニャットン橋、ノイバイ国際空港第二ターミナル両事業とも本邦技術活用 (STEP) 案件であり、日本の優れた技術やノウハウが活用され、ベトナムの経済成長の促進、国際競争力強化へも大きく貢献しています。



都市部渋滞を緩和する環状線の整備



ハノイ市は、同市とホーチミン市を結ぶ国道1号線と、ハイフォン市を結ぶ国道5号線の流入地点となっています。また、従前ハノイ市を二分する紅河には、バイク及び自動車が行き交う橋が市中心部に2本架けられているのみであり、市中心部を迂回したい車両も中心部を通過しなければならず、市内の交通渋滞に拍車をかけていました。このような状況の下、紅河

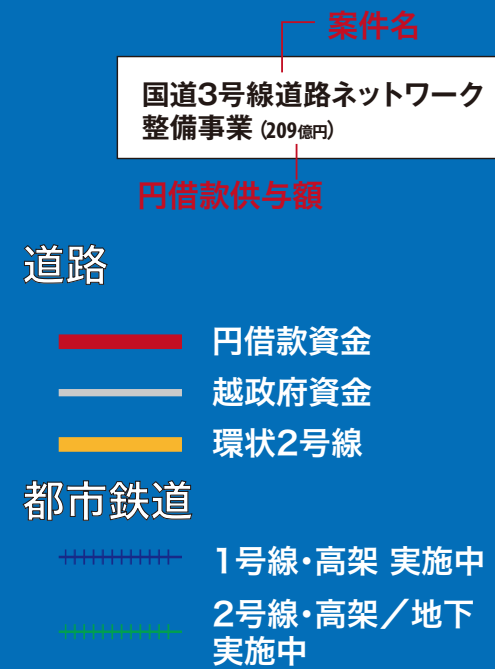
への新橋架設とハノイ市中心部を迂回する環状道路の整備が喫緊の課題になっていました。そのため、円借款で「タインチ橋（紅河橋）建設事業」

年現在には124千台/日にまで達しています。このように環状3号線は現在、ハノイ市に欠くことができない極めて重要な道路となり、市内中心部への不要な交通の流入を遮断し、国道1号線と5号線、さらに3号線、18号線とつながることにより、ハノイ市とハイフォン、ベトナムの南北の都市との物流の円滑化に貢献しています。



環状3号線マイジック・タンロン南の開業式

ハノイ市交通インフラネットワークにおけるJICA事業



国際港とつながる北部都市間交通ネットワーク



ラックフェン港につながる海上橋

ベトナム政府は、首都ハノイと港湾都市ハイフォンおよびその北に位置するハロン湾地域を結ぶ三角地域を、北部開発の重点として位置づけ、日本のODA再開後90年代を通じ同地域の運輸交通インフラの整備を優先分野としてきました。1993年にプロジェクト型円借款の第一号案件として、ハノイとハイフォンを結ぶ「国道5号線改良事業」が取り上げられるとともに、「北部地域交通システム開発調査」(1993～1994年)により同地域の交通マスタープランが策定されました。その後、同計画を踏まえ、

ハイフォン港リハビリ、さらに同港を補完するカイラン港拡張が円借款対象となり、次いでカイラン港とハノイおよびハイフォンを結ぶ国道（それぞれ国道18号および10号）、また、国道18号線上のパイチャイ橋やハイフォン市内のピン橋が円借款によって建設されました。これらの事業が90年代を通じて建設されたことにより、北部開発の三角地域における主要な

クフェン地区において、国際大水深港の新設および周辺基礎インフラ（アクセス道路、橋梁など）の整備を支援、完成したことにより、同地域において増大する貨物需要や海運市場における船舶の大型化への対応が図られ、結果北部地域のみならず、ベトナム全体の経済発展の促進や国際競争力の強化に寄与しています。



ラックフェン国際港。大きな積み卸し用クレーンが設置されている

